

建築テック企業でディスプレイ

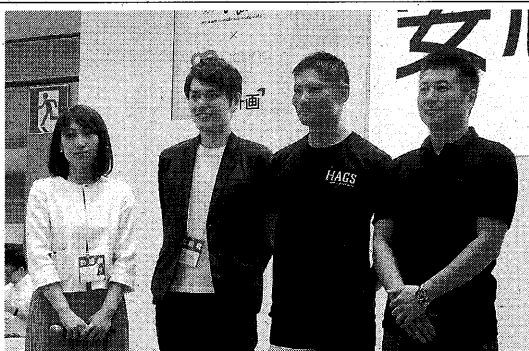
ITツールも現場接点から

リフォーム産業フェア

リフォーム産業フェアが7月30、31日に東京ビッグサイトで開かれ、建築関係のテック系企業も多数出展した。30日には住宅CADの安心計画（福岡市、小山田隆広社長）のブースに施工管理アプリ「アンドパッド」を展開するオクトの稲田武夫社長、リノベ不動産と建材ECサイト「HAGS」を運営する和久環組の鎌田友和CEO、宮本優安心計画執行役員がパネルディスカッションを行った。

ファシリテーターはアルの接点が大事。リノベ不動産と建材ECサイト「HAGS」を運営する和久環組の鎌田友和CEOが近付き現場で汗をかいてオンラインの世界に誘導することが必要」と述べた。

オクトのアンドパッドは、今年3月末までに1600社が導入、約4万人が使用している。



右から乃村氏、鎌田氏、稲田氏、宮本氏

宮本氏は、CG、VRなどを使った暮らし提案について話した。ITツールを使い顧客の動向を分析し、見積もりでのデータ管理で利益管理を徹底する取り組みにも言及した。

毎月70回にも及ぶセミナーを開いている。稲田氏は「写真のアップだけでも他のソフトと比べて使いやすく、社内の透明化にもつながる」と話した。

鎌田氏は「パーソナライズした暮らしへ、どうやって建材をコーディネートするか。施工事例、パッケージ化して、そこから選択できるようにしている」と話し、それぞれサービスについて説明した。

乃村氏は、建築テック系企業の役割が、ツール提供から、業務効率化へのコンサルティングなどに変わってきていると指摘した。

稲田氏は「職人を集めての勉強会を通じて小さな成功体験をつなげていく」などでITツールを現場に浸透させる必要があると述べている。

た。鎌田氏は「工務店、不動産会社という求人苦戦するが、リノベという採用がしやすい。新築よりおしゃれなイメージが付いている」と述べた。